

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）事後評価結果

大学名	九州大学
整理番号	A①-7
事業名	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム—ダブルディグリープログラムの高度化と定着・恒常化—

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 S	事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
コメント 本事業は、エネルギー環境理工学領域におけるグローバル人材を養成することを目的として、九州大学、上海交通大学、釜山大学校の三大学連携に加え、福岡・上海・釜山の都市間連携も活用した大学院協働教育プログラムを推進している。 事業展開では、パイロットプログラムでの豊富な実績の基、修士課程ダブルディグリー(DD)プログラムにおいてはコロナ禍の2020年度を除き例年十分な数の修了生を輩出している。2020年度に関しても、急遽オンラインでのカリキュラムとして実施し、派遣・受入ともに計画していた学生交流数の半数近くの学生が参加したことは、パンデミック禍での新たな留学形態の試行となったと言える。また、釜山大学校と博士DDプログラムの協定を締結し、上海交通大学とは、DD及びジョイントディグリー(JD)の構築に向けた協議を続けている。また、博士DD/JDの前段階として、1～5ヶ月の短期研究インターンシップを開始し、これらを基に、博士DD/JDを見据えた博士学生の支援体制や環境の整備を進めている。三大学の協働で実施しているサマースクールについても、意図及び事業内での位置づけが明確で、十分な数の参加者を得ており、全てのプログラムが着実に進展していることは高く評価できる。 更に第63回日本工学教育年次大会において国際セッション賞を受賞、翌年の第64回では文部科学大臣賞を受賞する等、情報公開及び成果の普及においても顕著な実績がある。 また、中間評価時の留意事項に対しても、学生へのアンケート実施によるプログラムの改善が施され、修了生の就職を含めた連携企業との関係構築においては、在学時には連携企業からの講師招へい、インターンシップ等が実施された。また、卒業後には就職先での現状調査まで行われており、プログラム参加者への強い責任感に敬意を表する。 最後に、大学の世界展開力強化事業による補助期間は終了したが、引き続き質保証を伴う発展的な事業展開の実施によって、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。	